

里親について知るおすすめ本リスト



全ての子どもたちが少しでも幸せに生きていけるように。里親を中心に子どもの福祉や新しい家族とのかかわり方のヒントが得られる本をピックアップしました。

荒尾市立図書館ブックリスト No.13
「里親」 2023.10月

No	表紙画像	タイトル	内容	著者	発行年	ISBN
1		里親とは何か	多くの里親と出会って生まれた本書。I部ではこれまで論じられてきた家族と里親についての考察。II部では実際に行われた里親へのインタビュー内容が掲載されています。「家族をすること」、あるいは、意識されることのない「家族」について問いかけます。	①和泉 広恵	④2006	⑤10047011
2		養子縁組を考えたなら読む本	“多くの養子たちは言葉にならない拒絶される恐怖と生きている”養子の隠された感情と、子どもの心の世界に入る様々なアプローチを事例を交えて教えてくれる本です。	①シェリー・エルドリッジ	④2019	⑤10094082
3		ふたりのおかあさん	「読み聞かせできるようなテリング（育て親が子どもに産みの親の存在などを伝え続け、子どもの思いに耳を傾けること）の絵本を作りたい」を目的に生まれた絵本。ふたりのお母さんから愛されているみらいちゃんがこれからも幸せでありますように。	①鎌倉女子大学「家族のつながり」ゼミナール	④2019	⑤20048054
4		新・誰がこの子を受けとめるのか	1985年創立の児童養護施設「光の子どもの家」の設立者が著した著書。担当者1名につき5人以内の子どもを受け持ち、家族として暮らすあたたかな施設。「血よりも濃い水」を目指す創設者の理念が子どもの幸せを育むヒントになります。	①菅原 哲男	④2017	⑤10086018
5		アニメえいが おまえうまそうだな	草食系恐竜に兄弟としてそだてられたライトとハート。ティラノサウルスの子のハートは大きくなるとみんなに恐れられるようになります。そんなある日ハートは殻を破って出てきたばかりの草食系恐竜の赤ちゃんに出会います。“他人”の二人が築くのは本当の父子のような関係…。	①宮西 達也/原作 藤森 雅也/監督	④2010	⑤300004746
6		里子・里親という家族	”縁あって養育里親になったとき、どの子ども大切に育てられていないことに衝撃を受けた”。40歳に里親になり、ファミリーホームを立ち上げた著者による子どもたちとの暮らしの実録。本の間から実際の声が聞こえます。	①吉田 菜穂子	④2012	⑤10071002
7		ステップファミリーのきほんをまなぶ	ステップファミリーとは子どもが両親の死別離別後に、親に新しいパートナーができることから生まれる家族。立場ごとに異なる子どもの心の事例やしつけ、声掛け、伝え方、新しい家族としての関係づくりの様々なヒントが得られる本です。	①S A J 編	④2018	⑤10092886
8		家族と暮らせない子どもたち	深刻な事情で家族と暮らせなくなった子どもを守る児童福祉施設。人生をここで再出発させ、未来を自分の力で切り拓いていくための力を培う場でもあります。その道筋で味わうさまざまな辛さ。大人がなにをすべきかをこの本とともに探ってみませんか？	①中田 基昭（編著）	④2011	⑤10066574
9		うちの子になりなよ ある漫画家の里親入門	漫画家がある日生まれたばかりの男の子の親になることに…。著者が里子を迎えるまでの思いと実際に里親になってからのことが漫画と文章で綴られているわかりやすい「里親入門」の本です。	①古泉 智浩	④2015	⑤10077047
10		産めないけれど、育てたい	「血のつながらない子どもを本当に愛することができるのか」養子縁組制度をしりつつ10年の葛藤の末、実際に赤ちゃんを委託された夫婦の道のり。養子縁組家族の喜びと悩みなどリアルな現実が描かれています。	①池田 麻里奈・池田 紀行	④2020	⑤10088131
11		その子を、ください。	子どもの命と権利を守る養子縁組の制度とそこで起こりうることを知ってもらうために。ボランティアとして17年間特別養子縁組に携わってきた産婦人科の医師による記録です。	①鮫島 浩二	④2006	⑤10048585
12		なぜ、わが子を棄てるのか	2007年に一民間病院に開設された赤ちゃんポスト。命を救われた実際の男児が口にした「ポストに入れてくれてよかったー」今も議論が続く中、棄てられる命、救われる命について考えることを投げかけてくれます。	①NHK取材班	④2018	⑤10091604
13		すぐ役立つ！児童相談所のしごとQ&A	児童相談所の「こんな時どうすれば良い？」というときに手軽にヒントが得られる便利な本。相談記録の作成方法など現場のあれこれや児童相談所が行う援助の種類など知りたいことがすぐに学べます。	①児童虐待問題研究会	④2020	⑤10092033
14		「そだちあい」のための社会的養護	人は人の中で育ち、地域の中で育つ。子どもも大人も育つ営みとして社会的養護を捉えようとした本です。社会的養護の歴史、「そだちあい」環境の構築、社会的参加の促進、家庭、地域との関係調整、支援内容、自立支援計画などを様々な著者が執筆。	①遠藤 由美/編著	④2022	⑤10098927
15		生きててもいい…？ひまわりの咲く家	里親の家を出て再び養護施設で暮らし始めた美香。関係がうまくいかずに自ら里親との関係を断ち切りますが、病気をきっかけに途絶えた関係が修復に向かいます。ひまわりのように上を向いて歩こうと決意をする著者による心打たれるノンフィクション。	①野口 美香	④2006	⑤10046060
16		「赤ちゃん縁組」で虐待死をなくす	愛知県の児童相談所では生まれてすぐの赤ちゃんを特別養子縁組を前提とした里親委託で一人でも多く家庭で育てようとする取り組み「愛知方式」を永年続けています。熊本の慈恵病院と連携した事例や親子の絆づくりを模索した職員の思いが詰まった一冊。	①矢満田 篤二 他	④2015	⑤10100119
17		トムのほんとうのうち	「ずっとまえから、トムはじぶんがもらい子だということを知っていました」8歳の誕生日にトムはお母さんにほんとうの赤ちゃんができたことを知ります。そして段々と自分を生んでくれたお母さんに会いたいと思うようになります…。揺れ動く子どもの気持ちを描いた児童書。	①ジョン・リンガード	④2001	⑤20018457
18		ほんとうにかぞく	「あさみちゃんにはもう一つの苗字があったんやで」お父さんが言いました。養子としてこの家に来た事は知っています。でもある日気に入らないことがたくさんあって気持ちが爆発。「なによおじさん。おばさん。どうせ他人やんか！」…おとうさんは怒りました。わたしはハツとします。	①のぐち ふみこ	④2005	⑤20023346
19		たからものはなあに	なつかちゃんは他の子と違って「あかちゃんのいえ」からきました。すぐには一緒に暮らせなかったけれど毎日パパとママは「待ってるよ」「大好きだよ」って思ってくれていました。そんなママのたからものはなあに？いま、ママのおひざのうえにいます…	①あいだ ひさ	④2009	⑤20036497
20		ねえねえ、もういちどききたいなわたしがうまれたよること	「わたし」は生まれた時のことを聞くのが大好き。産んでくれたおかあさんは違うけれど、わたしたちが家族になったよるの色々な出来事…。大事に迎えられた子どもの心が描かれた絵本です。	①ジェイミー・リーカーティス	④1998	⑤20047891